

第7回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクール開催報告

第7回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールは、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所主催のもと、8月24日～27日の日程で行われました。サマースクール運営に携わった筑波大学 岩室憲幸教授にお話を伺いました。

TIA連携大学院サマー・オープン・フェスティバルの一環として、第7回TIAパワーエレクトロニクス・サマースクールを開催しました。東京工業大学の赤木泰文特任教授をスクール長とし、TIAパワーエレクトロニクスMGと産業技術総合研究所の主催、筑波大学数理物質研究科の共催にて実施されました。このサマースクールは、筑波大学大学院パワーエレクトロニクスコースの集中講義として他大学からの履修も可能になっており、筑波大学以外の大学の学生からも単位認定の申請がありました。

授業風景



ポスターセッション



講義は3日間で、1日目の基礎、2日目の応用、3日目の最先端(英語での講義)として行われました。海外からは、The Ohio State UniversityのA. K. Agarwal教授よりSiCとGaNの材料特性ならびにデバイス動作解析に関する講義を、またUniversity of Illinois at Urbana-ChampaignのP. T. Krein教授からは、太陽光発電や燃料電池等の制御の高効率化を目指した部分電力変換に関する講義をしていただきました。

学生修了者 (中央手前の3名は奨励賞受賞者)



- 第1日目 基礎(技術史とパワエレ基礎、現状と課題)
- 第2日目 応用(ワイドバンドギャップ半導体への期待)
- 第3日目 最前線(研究開発の最前線)【英語講義あり】
- 第4日目 見学会(オプション)

Aコース: 鉄道総研/東京都国立市

参加26名

Bコース: 東芝府中事業所/東京都府中市

参加23名

Cコース: TIA パワーエレクトロニクス研究拠点/茨城県つくば市

参加39名

その他国内の先生を含め、世界のパワーエレクトロニクス分野で活躍している著名な先生の講義を直に聴講できたことは、学生にとって非常に良い機会であったと思います。各講義では、質問の時間が足りず、休憩時間にも講師の先生と議論している学生の姿が数多く見られました。3日目の夕方には修了式が行われ、本サマースクールで積極的意欲的に参加したとしてTIAパワーエレクトロニクスサマースクール奨励賞が3名の学生に送られました。4日目は、見学会が行われました。見学は(公財)鉄道総合技術研究所、(株)東芝府中事業所、筑波大学を含むTIA関連施設の3コースであり、パワーエレクトロニクスに関連した現場を見学することは、学生にとって興味深かったと思われます。

社会人修了者



開催日	2018年8月24日(金)～27日(月)
場所	産業技術総合研究所つくば中央、共用講堂
主催	TIAパワーエレクトロニクスMG、産業技術総合研究所
共催	筑波大学大学院数理物質科学研究科
後援	TIA運営最高会議
参加人数	121名 内訳: 学生94名(大学院生78名、学部・高専生16名) 社会人27名(TPEC参画企業15名、一般企業11名、公的機関1名)
表彰者	奨励賞3名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <http://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1